

10.12 台風19号の被害

【写真】大鷹沢三沢地区（大鷹沢保育園付近）の被害写真。大雨の影響により水位が上昇し、木材や土砂などが道路と民家に流れ込みました



10月12日から13日にかけて接近した台風19号は、本市で総降水量が365mmと、これまでの観測史上1位を更新する記録的な豪雨となりました。

本市では、台風の接近に備えて12日13時に自主避難所を開設。14時56分に大雨警報、15時20分には土砂災害警戒情報が発表されたことから、災害対策本部を設置。19時30分に避難勧告、21時には避難指示（緊急）を市内全域に発令しました。23時10分には大雨特別警報が発表され、最大で20カ所の避難所に713人が避難しました。

降り続いた豪雨により、市民1人が死亡、市内各地で土砂崩れや道路の冠水・陥没による通行止め、430件を超える建物への床上・床下浸水、ライフラインへの被害など、甚大な被害が発生しました。特に床上・床下浸水の被害を受けた住民の皆さんは、屋内の土砂や家財の撤去作業、災害ごみの搬出、消毒作業など、現在も生活の復旧に向けて取り組まれています。



1_土砂崩れにより通行止めとなっている国道113号 2_土砂崩れによる倒壊家屋（南町） 3_県道南蔵王白石線の様子（土砂崩れにより通行止め） 4_田んぼの用水路から流れ出した稲わらが道路に残り、通行の妨げに 5_川からあふれた水が、多くの民家に深刻な被害を与えました

広がる被災者支援の輪



6_土砂をかき出す災害ボランティアの皆さん 7_秋休みを利用して、市内の中学生もボランティアとして参加しました 8_応援に駆けつけてくれた登別市職員の皆さん 9_海老名市職員の方が災害支援物資を届けてくれました



台風が過ぎ去った翌14日、福祉プラザやまぶきに「白石市災害ボランティアセンター」を開設し、20日現在で延べ約250人の災害ボランティアを受け入れました。特に被害が大きかった大鷹沢三沢地区を中心に、被災した家屋の泥出しや片付けなど、精力的に活動してもらいました。

また、姉妹都市である北海道登別市や神奈川県海老名市をはじめ、多くの自治体・企業・個人の方々から温かい支援をいただいています。

今回被災された市民の皆さんに、少しでも早く日常を取り戻していただけるよう、復興に向けて尽力していきます。

被災者への各種支援について

災害ごみの受け入れ

災害により発生したごみを、直接ごみ処理施設へ持ち込むことができます。各施設の受付で「災害ごみ」であることを申し出てください。

●受け入れ施設

- もやせるごみ、もやせる粗大ごみ
仙南クリーンセンター
(角田市毛萱字西ノ入43-11)
 - もやせないごみ、もやせない粗大ごみ
仙南リサイクルセンター
(蔵王町大字平沢字新並124-104)
- ※エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機は受け入れできません。

●料金 り災・被災証明書を提示すると無料
☎生活環境課 22-1314

その他の支援制度につきましては、今後広報誌や市公式ホームページ、フェイスブックなどで随時お知らせしていきます。

●り災・被災証明書の発行

家屋などに被害を受けた方に対する「り災証明書」および「被災証明書」を発行しています。

●申請場所 白石市役所 本庁舎

●受付日時 平日8:30～17:15

●申請対象

・り災証明書の場合
市内にある住家（被災発生時に居住の用に供していたもの）

・被災証明書の場合
市内にある非住家の建物等（事務所、店舗、倉庫、カーポートなど）

●申請に必要なもの

- ①被災の程度が分かる写真（プリントしたもの）
- ②本人が確認できるもの（運転免許証など）
- ③印鑑（認印で可）

※申請者と同一世帯でない方が申請する場合は委任状が必要です。

●手数料 無料（郵送の場合は郵送料が必要）

☎税務課 22-1313